

実践『ペルソナ』通信 (No. 63)  
「女子大生におけるアルバイト先を退職する動機」に関する調査結果  
～女子大生 100 人に聞いた「アルバイトを辞めたいと思った瞬間」 *Ranking*～

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、女子大生を対象に、「アルバイトを辞めたいと思った理由」についてアンケート調査を実施しました。有効回答者数は 61 サンプルでした。

その結果をランキング形式で、1 位から 10 位までを発表します。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「マーケティング（担当：斎藤明）」、「統計科学（担当：竹内光悦）」、「経営学（担当：篠崎香織）」、の 3 つの分野のゼミ生を中心に組織され、実践女子大生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を科学する研究会です。

女子大生 100 人に聞いた「アルバイトを辞めたいと思った瞬間」ランキング

1	人間関係	21 票
2	シフトの融通が利かない	7 票
3	給料	6 票
4	クレーム処理などのお客様対応	6 票
5	仕事内容が合わない	4 票
6	仕事の忙しさ	3 票
7	面倒くさい、だるい	2 票
7	ミスで怒られた後	2 票
7	責任が重くなった	2 票
7	自己効力感が感じられない	2 票
7	成長につながらない	2 票
7	自己成長	15
	その他	

今回の調査結果では、アルバイトを辞めたいと思う原因に人間関係が多く影響していることが分かった。回答内容は分散しているが、アルバイトを辞めたいと思う主な原因には人間関係、シフト、給料、クレーム処理などのお客様対応の 4 つが関係しているといえる。これらの原因はそれぞれ相関関係があることが考えられ、店長や上司との関係がシフトに入れにくいことに関係している可能性、また給料への

不満と仕事の忙しさへの不満も相関があると考えられる。また忙しさへの不満の回答がある反面、シフトが削られることへの不満の回答も見受けられ実際の現状をさらに調べたい。

**(1) 1位：「人間関係」。**

アルバイトを辞める原因には人間関係を一番大きく影響していることが分かった。仲のいい人があまりできなかった時という回答もあったが、特に店長との相性が原因とされる回答は21件中6件を占める。店長自身が遅刻をしているため、残業をさせられているという回答もあった。シフトは店長が作成している可能性が高く、「アルバイトを辞めたいと思った瞬間」2位のシフトにもなんらかの影響があると考えられる。また、店長以外にも先輩やベテランアルバイトとの相性が悪いなどの回答も見受けられ、上司との関係が特に原因になっていることが分かった。

**(2) 2位：「シフトの融通が利かない」。**

希望通りのシフトはアルバイトをするうえで重要な条件であることが分かった。6件中2件はシフトに入れない、削られるなど働けないことへの不満であることがわかった。シフトに融通が利かない原因としては、人が足りている、提出した希望シフトが少ないなど様々に考えられるが、1位の人間関係との関係も可能性がある。店長や上司との関係が悪いと、シフトに入れないなどの現状もあるのではないかと考えた。

**(3) 3位：「給料」。**

給料という回答の中には、仕事内容と割が合わないという回答が多かった。中には長く働いているにも関わらず待遇が悪いという回答もあり、アルバイトに昇給や昇格の制度が整っていないのではないかと考えた。

**(4) 4位：「クレーム処理などのお客様対応」。**

客の態度や接客、クレーム処理などのお客様対応に関する回答が多く見られた。

**(5) 5位：「仕事内容が合わない」。**

仕事内容に関する回答も多くあった。仕事内容には人によって向き、不向きはあるが、どのような仕事にこの意見が多いのか調べたい。

**(6) 6位：「仕事の忙しさ」。**

仕事が忙しい、仕事量が多いなどの回答があった。3位の給料に仕事内容に対して給料が割に合わないという回答があり、給料への不満と仕事の忙しさにも関係があることが考えられる。

**(7) 7位：「面倒くさい、だるい」。**

仕事に対してのモチベーション、やりがいを感じられていないことが原因の回答であると考えられる。

**(8) 7位：「ミスで怒られた後」**

仕事のミスで怒られた後、やる気や自信、モチベーションに影響を及ぼすのではないかと考えられる。ミスで怒られることが多いと、仕事内容や上司に不満への不満にもつながるのではないかと考えた。

**(9) 7位：「責任が重くなった」。**

仕事を沢山任された時、責任が重くなった時との回答があった。仕事に対して責任を感じるとそれから逃げたいと思う傾向があるようだ。

**(10) 7位：「自己効力感が感じられない」。**

自分の無力さを感じた、必要とされていないときとの回答があった。

**(11) 7位：「自己成長」。**

自己成長につながらない、他の経験を積みたいなど自己成長のためにアルバイトを辞めることがあることが分かった。

**(12) 特になしの内**

その他の中には他人のミスを被るとき、就活への不安、オープン出勤で早起きしなければいけない日の前夜、セクハラ、サービス残業が多いとき、より良いバイト先をみつけた、体力がもたないなどがあった。

**調査結果について**

**<調査概要>**

1. 調査対象： 女子大生 1-4 年生
2. 調査方法： 調査票調査
3. 調査期間： 2017 年 12 日 ~2017 年 1 月
4. 有効回答者数： 61 人

**本件調査担当**

実践「ペルソナ」研究会  
3 年 佐々木 理奈